**北大生協2022年度 第9回定例理事会　発言録**

1　日時　2023年2月22日（水）　18:15～20:15

2　場所　北大生協会館店3階・会議室　（札幌市北区北8条西7丁目）

以下の理事は、webテレビ会議システムにより出席した。

　　　　　　坂爪浩史理事長 （自宅、札幌市西区）

　　　　　　　　　原拓也常務理事　　 （自宅、札幌市北区）

コリー　紀代理事 （自宅、札幌市白石区）

今村　央理事　　 （自宅、北海道函館市）

奥山莉子理事　　　 （オーストリア、ウィーン）

3　出席役員

理事総数　　20名中15名出席

（出席理事）坂爪浩史理事長、小助川誠専務理事、鏡秀隆常務理事、原拓也常務理事、井崎貴皓常務理事、田代直也常務理事、小松慎太郎常務理事、金川眞行理事、今村央理事、コリー紀代理事、奥山莉子理事、髙木暉馬理事、石本万象理事、逸見京花理事、羽木康祐理事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席理事）林　忠一常務理事、小篠隆生理事、伊藤美香理事、小川美香子理事、野呂香綸理事、

監事総数　　5名中4名出席

（出席監事）岡野泰樹監事、浦田翔吾監事、黒川昇悟監事、寺西ほの花監事

 （注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席監事）芳賀永監事会議長、

（オブザーバー）嶋崎聡（大学生協事業連合北海道地区管理統括部長）、齋藤店舗事業部部長、

百石一也マネージャー、村田礼二マネージャー、片木圭二理事会室室長

なお、議事に先立ち理事会参加者全員が、一堂に会するのと同等に充分な意見交換ができることを相互に確認した。

４　議長　井崎常務理事

５　上記の通り理事の出席があり、理事会規則第8条に基づき本理事会は成立した。

18時15分に理事会規則の規定により、議長に井崎常務理事を選任した。井崎常務理事は、理事会の開会を宣し議事に入った。

2023年1月期の営業総括と決算承認の件

（坂爪）議題についてではなく食堂レジスピードの件で発言したい。改めてレシート記載を確認したら残高、赤・青・黄の点数、栄養表示もなくなっている。基本的にレシートを出さないようにして、必要な人は言ってくださいにしたほうが早くなると思いますがどうかでしょうか。

（小助川）レジスピードを低迷させないためにレシート出力に時間を要するので出力しないで渡さないことも検討しましたが、レシートを必要する方の対応も時間を要するので今は出力して渡せるようにしている。検討して出力しないで渡さないことはできる。理事のみなさんはレシートの出力、渡す、渡さないについてどのように思いますか検討して変更することはできる。必要とする方がいるので難しいところもあります。

（坂爪）一律で決めるよりも食堂毎に状況をみて対応してもいいと思う。農学部食堂はほとんどレジ横の箱にレシートが溜まっている。以前の理事会で北部食堂はレシート無しのレーンをつくる検討をしているように食堂ごとでほんとどの人がレシートを受け取ってない店舗は基本出さないようにしてもいいのでは。必要な人だけ対応するようにしたら早くなると思ったので提案させてもらいます。

（片木）レジごとにデフォルトで出力する、しないを決めておくことになる、出力するとなるとひと手間かかることになります。

（坂爪）ここですぐ結論を出す議題ではないので機会があれば検討してください。

（小助川）レジスピードをあげる案として検討材料としたいと思います。

（井崎）15ページ、サービス部門が予算未達成の終了コメントになっている。予算515万円で実績1014万円は予算達成ではないでしょうか。

（嶋崎）全体概要では予算達成部門になっている。15ページの予算未達成が誤っています。

（小助川）確認して修正します。

書籍定期購読の割引率変更の件

（百石）目標数値としては少ないですが客数回復が至上命題でありその一つの手段として改正させていただきたい。割引率の変更に関わることなので理事会承認をいただきたい。是非承認いただいき理事の皆さんにも申込をお願いしたい。26ページは他の割引率の質問が出ると思い一覧にしました。

（石本）定期購読の雑誌ですがどういう種類の雑誌が対象になるのか。

（百石）定期刊行物の全ての雑誌は対象になります。

（石本）いま定期購読176件の人は雑誌の種類、客層の割合はどうなっていますか。

（百石）一覧を作成したが出していない。多種多様でジャンプなどいろいろ階層の方が利用してもらえているが割引率が5％だと魅力が少なくリピーターメリットを出して10％割引に変えたい。

（石本）学生は生協の書籍で定期購読は聞き馴染みがない。広報のところをこの機会に力を入れてほしいです。

（金川）定期購読はお店に取りに行くということですか。お店に行くということは店にくる。

（百石）それが狙いです。

（金川）この目標を達成すると定期購読の売上げはプラス、マイナスになるのか。

（百石）割引還元率が倍にするので定期購読は50％以上増やしたいところ、これだけではなくとにかく来店につなげ

定期購読以外の利用につなげ来店動機が目的。もしかすると割引分の支出が増えるかもしれません。

（金川）職員が購入しても取り行くのか。昔のように届かないのか。

（百石）お届けはできない。書籍外売店の利用は定期購読の適用にはならないです。

（坂爪）ポスターの現金10％引きは現金払いのみ対象に見えるクレジット、生協電子マネーで払っても割引対象ですよね。誤解する方がいると思う。

（百石）決済方法は現金、クレジット、生協電子マネーなんでもいいです。割引の方法として現金値引き、ポイント還元の2つがあり現金値引きをしますというようにしたつもりです。もう少し説明を加えて分かりやすくします。

（奥山）支払いの流れについて確認させてください。900円の定期購読を申し込んで生協電子マネーで支払う場合900円が電子マネーで引落しされ90円が戻ってくるということでしようか。

（百石）そうではなく。例えば1,000円の本の場合100円割引になり900円に対して消費税が加算された合計金額を現金、生協電子マネー、クレジットカードでお支払いしてもらいます。

（奥山）通常の書籍利用で1,000円の本は何％の還元率ですか。

（百石）5％のポイント還元、付与されまます。新しいしシステムは100円が貯まらなくても直ぐに電子マネーに反映されて利用できます。

（奥山）定期購読を生協電子マネーで払った場合割引された金額の5％が還元されますか。

（百石）その場合割引と還元で15％になるので5％還元はできません。

（奥山）いままでは定期購読、通常利用でも５％で何も変わっていなかったということですか。

（百石）定期購読は本体価格から5％を現金割引する。通常利用の場合は本体価格の5％分をポイントで還元していました。提案は定期購読の申込は5％割引から10％割引に割引率を改定することになります。ポスター表示を分かりやすく修正します。

（奥山）理解しました。

（井崎）定期購読を生協電子マネーで支払う場合0.5％還元されますか。

（百石）生協電子マネーの支払いは全て0.5％分のポイントが生協電子マネーで還元されます。

（井崎）とういうことは生協電子マネーで支払うと本体から10％割引された金額の0.5％が生協電子マネーで還元されるということですね。

（百石）そういうことです。

（井崎）目標数値についてアフターコロナと見据えてと書いているがコロナ前の2019年と比べて目標数値の設定はどのようになっていますか。

（百石）そのような数値を拾っていなかった。今現在の店舗の数値をカウントした現在の実績数値から30％増を目標とした。数値が残っていれば50％増など目指せたかもしれない。

（羽木）表記は本体価格から10％割引にしたほうが分かりやすい。入学してから知る機会が減るので入学手続きとか別な資料で案内したほうがいいと思います。

（髙木）目標数は院生、学生、教職委員会それぞれの委員会が一丸となって取り組むと達成できる目標だと思う。

大学生協共済連総会　清算結了総会代議員選出について

（小助川）議案書は議決事項になっていますが代議員選出期間が2/27までだったので常務会で了承を得て代議員を選出しましたので報告事項として提案させていただきます。

2022年度総括（案）2023年度方針（案）

（石本）27ページの学部毎の利用者アンケートの実施とその要望について実施できていませんと総括されている。どのようなアンケートを実施しようとしていたのかなぜ実施できなかったのか知りたい。

（齋藤）この方針を作成したとき一昨年に歯学部、薬学部、理学部の3学部でアンケートを実施した。実施した理由は生協店舗の存続が厳しく本当に必要なのだろうか学部毎の生活を集約して運営に活かしていくためだった。今の薬学部店の存続、営業時間につながっている。今年は対面が多くなって客数が戻りつつあり大規模のアンケートではなく組合員ミーティングを開催して対話をしながら意見をいただくことで店舗を寄り身近なってもらう声を取り入れやすくすることを進めました。アンケートを優先しなかったことで実施できなかった理由です。

（石本）アンケートに限らずミーティングとか組声ボックスとかいろいろな手法で声を集めることはできるがなかなか組声ボックス、ミーティングがあっても参加しにくい、投票しようとならない人であってもアンケートを前段に周知されると関わりやすい

こともあるのでいろいろな方法を検討してほしいです。

（石本）中央2階改修計画について今後どうしていくのかお聞きしたい。

（小助川）理事会で意見を聞いて数パーターンを検討しているが具多的なプランは提案できていない。学生からの声では学生同士が集える場としての要望が多くあります。カフェ的なお店となりますが事業面で存続できるものなのか慎重に検討していきたい。対面授業が2年目となり学内人口が増えコロナ「5類」になるので年内には理事会提案をして改修を進めたいと思います。

（石本）しっかりとしたコンセプトを持って進めてほしい。

（石本）自動販売機の入札とあるが現在北大生協は自動販売機の運営はどのようになっているのか。

（小助川）これまでの入札は北大生協が落札をしているので自動販売機の故障、商品の入替えなどを大学と連携して管理している。生協電子マネーが利用できるようリーダーライターの設置をおこなえているので組合員利用サービスの維持ができている。大学に大きな収益を残せるようになっているが生協への収益はありません。2023年度8月末契約満了で7月入札が行われる予定です。入札参加は理事会で協議します。同業社の参加がありますので継続できるかはわかりません。会館店前の自販機、食品自販機、獣医学部食品自販機は入札対象外です。

（金川）32ページの3ヶ年方針が書かれているがほぼ教職員向けの対応が見えない。北海道大学の発展と魅力ある大学つくりに貢献し、大学に広く深く根付いた存在になることを目指すと書いてあるがメインが学生でしかみえなくて寂しい。最後の特記事項で校費対応で新任教員の営業活動の強化とあるが、大学との意見交換も学務部長としかでてこない学生ほうしか向いていないのかと職員代表としては見える。もう少し教職員に向けた方針、課題があってもいいのでは。

（髙木）2022年度総括の〇△✕は気にしなくていいと理解したがこの文章はどのように振り返りをして書いたのか。アンケートから各担当者からのなのか。

（齋藤）該当する部門マネージャーに記載してもらった。

（髙木）例えば学生、院生、教職員委員会の強化は重要な課題です対して評価が目標で加入人数の振り返りしか書いていない。本質を捉えていない気がする。他も振り返りの文章が目標に対して本質的ではない書かれ方をしている。

2023年度方針で教職員に対する認識がないということだったんですが、院生視線からみると学部生と院生が一緒にされているところが院生に向けた専門的な別な対応が軽視されてしまうかなと感じた。ジンパ必ず復活してください。

（金川）振り返りの部分を含めて総代会資料になるのか。

（小助川）振り返り第1号議案になる。

（金川）書きぶりとか直したほうがいい。最後の校費対応のところ新人教員の営業活動おこない・・、これで情報をとっているとは言えない。これで何人新しい先生の居所がわかったのか。これだと営業はできない。ごく一部に先生に営業をかけても効果がないので営業のかけかたを考えたほうがいい。

（奥山）2022年の総括で数値を書くことは客観的判断としていいと思う。その結果3-1.3-2.3-3.のところでどれだけ達成に寄与できいるかいうところまで結論付けて書いてほしい。事実として委員会の入会した数は積極的に運営に参加する組合員が増えたことはいいことでその結果として委員会が強化できたのか。3-2で気になったのは対話を実施しました。定期面談は報告から対話してそこで何がわかったの結果としてそれが項目の達成にどれだけ寄与してたのか最低限見た人がわかる総括にしてほしい。

（井崎）教職員委員会の27ページ3-1で人数を増やすことが目的だとして教職委員会はどのようなプロセスで人数が増えるのか知っているかたが居れば教えてほしい。学生、院生は新勧で声掛けして加入してもらう。

（片木）教職委員会としても増やす議論はしているがどういう場面で活動したらいいのか決まった場面がない。いまは毎月おこなっている教職員総代会議でアプローチしている。手法はないがいろいろな取組みを参考に加入してもらえるようにします。

（井崎）✕の評価になっている。人数で評価をしているので来年も✕になると思ったので質問しました。

（井崎）31ページの新型コロナウイルス「5類」対応で2019年以来食堂に行っていない友達と食堂に行ったらパーテーションに衝撃をうけていた。外食はパーテーションをなくしている生協食堂も全面のパーテーションはあってもいいけど横は無くしてほしい。33ページのアプリの活用でポイント付与が0.5％されることが意外と知られていないと思う。自分はカードを使って支払いしているのでレシートにも印字されてなくなっていてポイント残がわからなくなった。こういう人が増えていると思う。今後時間帯によってチャージすることでプレミアポイントが付与する取組みを情宣するときには元々0.5％貯まっているところに増やしますといった強調をしてもいいと思いました。

（小松）常務理事会でパーテーションの議論をしたときに他大学生協で無くしたらパッシングされたらしい。一人で行ったときに食べやすい理由で残してほしいようだ。全面撤去ではなく部分的に残す検討をするべきになった。

（齋藤）他大学生協は全面撤去ではなく透明のパーテーションに入替えたがクレームになった。クレームは小松さんの発言のとおり一人食べにくくなった化粧しないといけなくなったような声が入ったようです。色々な席を検討し徐々に撤去していくことになる。大学とパーテーションについては相談しながら対応をしていきたい。

（小助川）マスク対応を考えることにある。

（井崎）「5類」になる5月に環境整備をするのか4月新入生が入学する前に整備を終わらせるのか決めておく必要があると思いました。

（コリー）パーテーションは「5類」になったときに撤去するということででしょうか。

（齋藤）「5類」になったときに撤去するかは大学との協議が必要です。

（小助川）現在のパーテーションは大学費用負担してくれて設置している。そのことも含めて「5類」なることについて大学にパーテーションの扱いについて相談をしていく。理事会の意見などを参考にしていきたい。大学から100％撤去の指示があった場合は理事会で協議していきたい。生協としては徐々に撤去してきたいと考えていることを伝えたい。結論は持てていません。

（金川）先に生協側の対応（案）決めたほうがいい。大学のコロナ対策本部会議をやるときに大学の福利厚生施設の生協食堂をこうしたいと（案）を先に出しておいてそこで決めてもらう勢いで進めた方がいい。大学で決ってからでは変更できない。

（小助川）３月も2022年度総括（案）2023年度方針（案）協議します。このあとお気づきの点がありましたらメールで意見などください。引続きよろしくお願いします。

報告事項

（鏡）創立75周年記念パンフレツトは7/24に納品され7/25から学内配布を開始になります。